

4月15日(水)代表者会議 会議録要旨(新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応状況について)

市側より説明

新型コロナウイルス感染症に対する本市の対応状況について

・昨日発生した保健所職員の陽性について(報告)

4月14日夕刻に市長が記者会見を行った。陽性となった保健所職員は軽症。昨日午後判明したため、判明後保健所を閉めて消毒作業等を実施し、本日から通常業務を行っている。接触者としては席の近い職員等18名(保健所職員だけでなく応援職員も含め)が自宅待機しているが、濃厚接触者とまでは言えない。

・新型コロナウイルス感染症対策担当の実施体制について

4/8緊急事態宣言を受けて「藤沢市新型コロナウイルス感染症対策本部」(地域保健課位置付けの「コロナ対策担当」)として移行。執行体制は専従職員10人、兼務支援職員6人。業務としては、コロナ対策のコントロール的な役割を中心に、コロナ対策の総合調整、諸施策の総括、国や県からの情報収集と対応、市民・事業者への情報提供、今後の給付金等の企画調整等も担う。場所は本庁舎7階、防災安全部奥が拠点であるが、保健所にも常に何人か配置しており室的機能を果たしている。保健所の方への応援職員として、保健師45名の兼務発令をして一日数名ずつ派遣、相談業務支援・事務処理応援として福祉健康部内から18名の兼務発令をして一日2名ずつ派遣。

・職員の感染防止対策について

出勤者数を減らして接触率を下げるという国の方針に沿った形。本日(4/15)から各職場で班体制を組んで在宅勤務、時差出勤、通勤方法の変更等。

・予防・まん延防止の取組

市の事業、市が共催・後援する事業等は原則6/30まで中止または延期。社会教育施設等の市民利用施設は原則5/31まで休館・休止。

・市民生活の支援(微酸性電解水の市民配布について)

現在、本庁舎地下にて(株)微酸研の無償提供による装置を設置し、微酸性電解水の生成を行っている。3/30～主に高齢者施設、子どもの施設等の団体に配布をしているところだが、第二弾として市民の皆様に、市民センター11ヶ所・公民館2ヶ所(石川分館を除く)で無償配布を行う。時期は明日(4/16)から当面の間。10リットル入る容器をいくつか分散して設置し、市民の方が自らその容器の蛇口をひねり、持参した容器に入れる形。各配布場所には、本日午後、建設部門や管財課に協力してもらい一斉に配布する予定。10リットル容器を10個ずつが基本だが、人口の多い地区には配慮して増やし随時補充。紫外線に弱いという性質があるが、ブルーシート等をかけておけば、1か月程度効果がある。

・市民病院の対応

神奈川DMAT及び神奈川県への職員の派遣について(報告)2/5～26神奈川DMAT調整本部長としての活動、3/23～31新型コロナウイルス感染症拡大を見据えた医療体制の構築に関する業務を行う健康医療局で派遣職員として活動、4/1～新型コロナウイルス感染症の拡大を見据えた医療体制「神奈川モデル」を構築する同局の感染症医療提供体制担当技監(兼任)として配置。この件については、一度も報告をしておらず、大変申し訳なかった。

・防災行政無線について

4/11(土)市長から市民に向けて自粛のお願いを行った。今後、緊急事態宣言期間中の毎週土曜日(4/18、4/25、5/2)10時に、同様の放送を流す予定。

項目		議員からの質問	市側の回答
保健所	PCR検査	保健所でPCR検査をやっているか？当初は茅ヶ崎の神奈川県衛生研究所に藤沢市分を送っていると聞いていたが。	3月3日からPCR検査キットを入手できたため、保健所で検査を行っている。当時、ご報告が漏れていて申し訳なかった。1日あたり、最大19検体×2クール(一日)で38検体の検査が可能。
		PCR検査の件について、保健所で行うようになった経過について、このような安全対策をとってやっているのだという説明を、後日文書でもらいたい。	承知した。
	業務	PCR検査実施について、安全性の担保はなされているのか？陽性となった保健所職員は検査の担当ではなかったと新聞報道にあったが、早くも本日から業務を再開して大丈夫なのか。入口に感染者が出た旨の告知等は貼ってあるのか。	保健所の貼り紙等に行っていない。普通に業務を行っている。接触者外来自体は保健所では設けていないため、感染者及び疑いのある人は保健所には来ない。市内の外来を設けている病院に検体を取りに行き、検査をしている形のため、保健所で市民と感染者(疑いのある人)が接触する機会はない。
		保健所というのは、感染者が来る場所ではないことから藤沢市の保健所職員が仕事上で感染することはないという認識で良いか。陽性患者に会って話をしたりというリスクはないのか。	陽性患者への聞き取り調査は行っている。その時には、2名体制で患者のところに伺って聞き取りをするが、防護服等の今言われている可能な限りの予防体制を整えて調査を行っている。
		陽性患者と接触する際の対策は万全に行ってほしい。防護服等は足りているのか。	今のところは足りているが、今後これがいつまで続くかによって不足する可能性はある。国の方からもいろいろな企業に増産等のお願いをしているが、足りなくなる前に早めの対応をとりたいと考えている。

項目		議員からの質問	市側の回答
保健所	コロナ担当	コロナ担当の仕事の範囲は。基本的には全てそこで掌握できるのか。問い合わせ先は、コロナ担当で良いのか。	コロナ担当は、全般的なコントロールをする。国や県の機関から来る情報は各部局が主体となるが、それを集約するのが本部。本部に問い合わせいただき、そこで回答できないものは、本部から各担当に確認するため、まず問い合わせさせていただくのは本部で構わない。
		「藤沢市新型コロナウイルス感染症対策本部」の実施体制について、資料の黄色に色分けされているのが、保健師等の専門職か。	基本的には事務職員。
	相談	保健所の相談体制が強化されると聞いているが、一日200件程相談があると聞いている。今のところ、相談は全て保健所となっていると思うが、内容によっては保健所が問い合わせ先ではないものもあるだろうから、内容で仕分けをするような体制が必要ではないか。	現在、保健所の電話相談の体制は、電話回線が2本あり、1件10～20分程度かかる。終わって電話を置くと、すぐまた次の電話が入るという状況。一日200件程の件数がある。ご指摘の通り、保健所が担当ではない相談内容もあり、それについては適切に担当課を案内するようにしている。ただ、これから実際に給付金等が始まると、問い合わせ等の増加も想定されるため、適切に対応できるようにルールを決めていきたい。
		保健所一本ということではなくて、対策本部の方でも対応するような形を考えた方が良いのではないか。	電話の問い合わせ先をどちらにするかということも含め、これから詳細について検討していきたい。
		電話相談について、一日200件を2回線で受けているとのことだが、何人で対応しているのか。	基本的に2回線となるので、その時点では2人になるが、応援職員も含め交代で対応しているため、何人というのは、その時々的人数にもよる。
		電話2回線で足りているのか。	今のところ、電話が繋がらないというような指摘はないため、ギリギリ足りていると考えている。今後藤沢の感染者数が増えてくれば、足りなくなる可能性があるため、増設も考えていかなければならない。

項目		議員からの質問	市側の回答
保健所	陽性患者	職員で陽性者が出たので、保健所に行くのが心配という市民もいる。今日、普通に開けているという状況がどうかと思う。市民に、「感染者が出たが、安全性はこういう風に確認してますよ、職員はエレベーターは使用しない」という周知をしてほしい。職員と市民の導線を分けるなど対策を設けてほしい。	早急に対応する。
		18名の自宅待機は、保健所職員か。	本庁から保健所に、応援に入っている職員も含んでいる。
		18名もの人数が自宅待機となって、大丈夫なのか。業務は維持できているのか。	本日から4名の体制で、総務部の協力により新たな応援体制を組んでいる。今のところ、保健所の業務に影響が出ているという話はないが、今後の感染状況等によっては新たな応援が必要になるかもしれない。今の状況だと、保健所の業務を遅らせるということが出来ないため、他部局の業務を縮小して、保健所業務に投入するということが必要となってくるかもしれない。
		保健所の職員から出たということに関して、院内感染的な要素があるかないか心配である。今回の陽性患者となった職員が、そういう可能性があるのかという部分は押さえておいていただきたい。	保健所の感染経路については、発症から遡って2週間の行動歴を調べている。継続して確認を行い、適切な対応を取るようにしたい。

項目		議員からの質問	市側の回答
微酸性電解水		微酸性電解水について、一日何リットル各センターに配布するのか。市販で購入すると、1本1,000円くらいするため、希望者は多いと思う。保育園等にも毎日送っているのか。一日どのくらい生成できるのか。	各センターにそれぞれ、10リットル容器を10個ずつ、100リットル配布する。500mlペットボトルにすると、200本分。できる限り、それ以上、置くようには考えている。不足分はピストンで持っていき随時補充をしようと考えている。市販されているものは、ほとんどがアルコールになるが、この電解水は揮発性ではなく普通の水を触ったのと同じような状態なので違和感があるかもしれないが、殺菌性は証明されており、野菜工場等で業務用として使用されているものになる。保育園等の施設で必要なところには、随時送っている。一時間で360リットル生成できる。紫外線に弱く、透明容器では5日間くらいしか持たないため、頻りに補充する必要がある。
	経済支援策	県が休業補償を発表したことに対し他市が独自の施策を発表して取り上げられているが、藤沢市も江の島あたりは施策を考えないといけない。藤沢市も独自の休業補償、経済支援策を考えているのか。	国の方針が出て、昨日神奈川県が、東京都のレベルまではいかないが対応を取ると発表した。財源の話もあるが、今の危機的な状況から、一定の経済対策をするべきであろうとは考えている。具体的にいつ、どれくらいの規模でということまでは調整がついていない。スピード感を持って対応したいとは考えている。また決まり次第、ご相談・ご報告したい。
自粛要請	P R	額は一万円でも良いから、出した方が良い。藤沢市の事業者数で試算等はやっておいた方が良い。財政調整基金も使えるのかどうか等、検討はした方が良い。その上で出来ないなら出来ないで仕方ないが、市長としてもそうした政策をうち出せるよう、考えた方が良い。	4月初旬に商工会議所から提言をいただいている。12項目あり、その中で出来るもの、長期的に捉えるものが分かっているが、そうしたものも参考に、我々も検討して早めの対応を取っていきたい。
		防災無線の件について、江の島付近だけ流すということができるか。江の島だけでなく、海岸線等にピンポイントで流せないか。無症状の感染者かもしれない若い人たちが多く訪れている。「帰りなさい、今は我慢してください」というアナウンスが必要ではないか。	江の島は島内に独自の放送設備があるため、お願いすることは可能だと思う。海岸線も部分的には可能だが、内容等含め検討する。
		横浜や東京に向けて、身近な観光地に行かないでほしいことを、行政として正式に伝えていく必要がある。	134号線沿いの駐車場を、明日から閉めることにしたが、それと合わせて、そういう趣旨だということも、市内だけでなく市外県外に向けても発信できるように調整を取りたい。

項目		議員からの質問	市側の回答
自肅要請	P R	市長のメッセージについて、防災無線も良いが、先日AIを使用して外国語でもという記事が出ていたため、そうしたツールを使うのも良いと思う。	承知した。
		江の島だけ駐車場が開いているということに対して、鎌倉と比較しても、藤沢市の姿勢がどうなんだというところがある。市長メッセージは、防災無線だけでなく、ホームページ、カラフル藤沢、Facebook等も使い、市長のメッセージを発信していくということも必要ではないか。	
	県との連絡調整	134号線沿いの駐車場について、本市は明日からだが、近隣他市は既に閉鎖しているところがあった。この新型コロナウイルスについては、広域での対応が必要であり県の動向には注視しておくべきだが、今回の件については藤沢市だけ遅れをとった感がある。せつかくコロナ担当が新設されたため、県との連絡調整係を明確にして情報共有や連携を図ってもらいたい。	承知した。
議会への情報提供	ル ー ル	(議長)今の問い合わせ先については、基本的に議会事務局を通す形でお願いしたい。	
		冒頭にあったPCR検査の報告漏れもそうだが、この間、新型コロナ関連の報告が、我々議員に対しては期間が空いていて、何もなかったという印象を受けている。議長には逐一報告があるのかもしれないが、状況が日々刻々と変わるので、議会(議員)への情報提供のルールを決めてほしい。	承知した。

項目		議員からの質問	市側の回答
議会への情報提供	ルール	先ほども、現場に負担をかけないように、市議会議員が個別に問い合わせ等をしないようにという申し合わせが出たが、議会の窓口を市側で作っていただきたい。	承知した。
		議会に報告する機会を考えてもらいたい。議員がバラバラにやってもよくない。	報告の場をどういう形で設けるかを調整して、設けたいと思う。
		いろいろ情報はもらっているが、その後どうなったのかがわからない。市内で患者が発生して、その後退院したのかどうか。東京のホームページ等では重症・軽症などの情報が出ている。そういう情報は、良い意味で安心材料となるため、情報提供してほしい。市民の方が情報が早く、企業のホームページ等で情報が出ている場合がある。言える言えないがあると思うが、わかる範囲で教えてもらいたい。	承知した。
	危機管理	保健所職員の感染者が出て、18名自宅待機となっているという説明があったが、聞くところによると保健所の職員だけでなく、議会に関係する職員でも自宅待機が出ているとのことだが、そういった説明がなされていたのか、突発的な事案に対する危機管理がどうなっているのか。	18名の特定について、保健所の方ではもちろん把握しているが、我々の方では個別の名前も把握できていない。その家族・親族がどういう方がいるかという部分も、昨日の段階では全く把握が出来ていなかったというのが実情。濃厚接触ではないので、自宅待機ということだが、今後の継続調査により濃厚接触が明らかになれば、情報共有をして議会に関係する部分があれば、お伝えしたい。
	緊急対応だから、とりあえず「18名自宅待機とします」という報告だけだったのかもしれないが、保健所だけで把握しているのではなく、突発事案に対して危機管理のルールを決めていると思うので、しっかり対応してほしい。	昨日に関しては残念ながらそのような対応となってしまう、申し訳ございません。現時点では把握している。今後の対応について承知した。	

項目		議員からの質問	市側の回答
職員対応	在宅勤務	在宅勤務について、時期と何割減という数字はあるのか。	本日から行っている。各職場の業務の実態でどこまでという数字で表すことが難しい。それぞれの職場で判断する形。神奈川県も、県民にお願いしている以上、今日になって県職員の出勤者数を減らす取り組みを打ち出したため、それに呼応する形で出来る限り率は高めていきたいと思う。しかし国が示す7～8割は、市民生活を保つ市役所では難しいのが実態。逆に窓口業務等は待ち時間が増えるなどの市民への影響が出てしまう。率的な目標は難しい。在宅勤務の職員が何割になるかなどの数字は出せない。削減率の目標を立てることは難しい。今日の資料は、あくまでテレワーク的な記載となっているが、出勤要請もしなければいけないと認識している。特に今回、保健所職員に陽性患者が出たことにより多くの自宅待機者が出ているので、少なくとも2班体制的な形とし、課の中、一担当が全員来られなくなるという状況は避けなければいけないということで、総務部でも検討しているの、案が出来ましたらまた報告させていただきたい。
その他	業務継続計画	資料の1-(2)組織体制に「市中に大規模感染が発生した場合」と記載があるが、目安の数字があるのか。	本市の業務継続計画の中では、数字等は出ておらず「県内感染期」という表現だけだが、市職員の被害者数で考えると15%が出勤できないという状況になった場合は最大の業務縮小となる。
	マスク	マスクが足りないという中で、職員は足りているのか。余談だが、ピタットマスクは花粉用で、ウイルスは防げないため、付けている職員もいるが、市民の目もあるので、なかなか周知徹底は難しいと思うが参考まで。	実際には十分足りていると言われるとそうではないため、考えて使っている。窓口職場については、ビニールシートを設置して、今できる範囲で対応をとっている。マスクに関しては入手ルートを探したり、寄付してくれる企業もあることから考えながら対応していきたい。
	広報	日本語を母国語としない方への情報提供について、対応の状況はどうなったか。	ホームページ上で対応している。